

DSJP のデータが中医協の資料に採用されました

医療用医薬品の供給に関する状況を示すデータとしての活用

2022年12月21日に開催された中央社会保険医療協議会（以下、中医協）総会（第534回）の資料の中で、一般社団法人 asTas（あすたす）が運営する医療用医薬品供給状況データベース（DSJP <https://drugshortage.jp>）のデータを元にしたグラフが使用されています。中医協の資料では、DSJP のデータを元に「医薬品供給に関する情報の公表状況」が集計されています。このことから、DSJP は医療用医薬品供給状況を一元的に検索・確認するだけでなく、製薬企業の出荷調整等の情報の公表状況を可視化することが可能であると示されました。

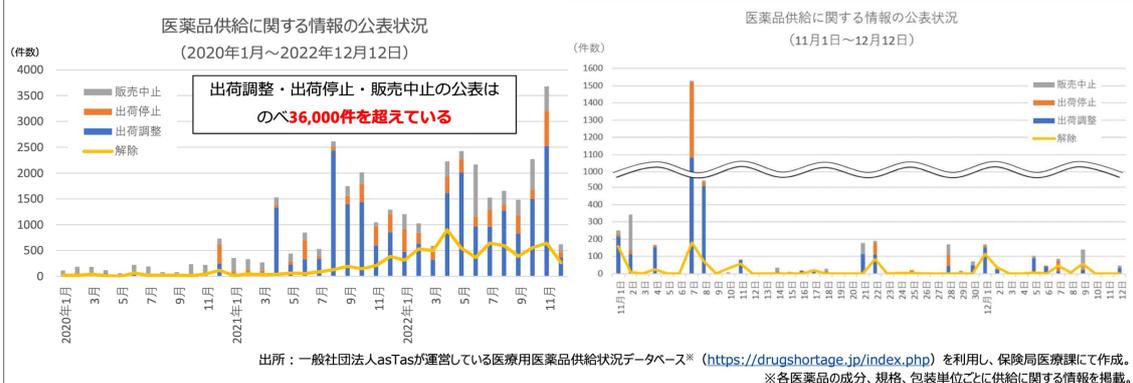
厚生労働省 - 中央社会保険医療協議会 総会（第534回）

(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00171.html)

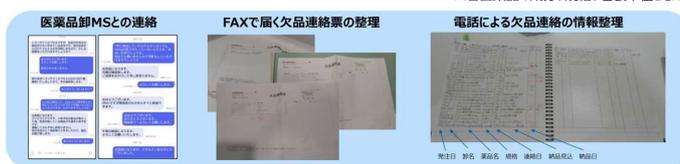
○医薬品の安定供給問題を踏まえた診療報酬上の対応について（総-5）

医療用医薬品の供給に関する状況

- 2021年以降、医療用医薬品の供給は、出荷の調整・停止や販売中止が相次いでおり、出荷調整等の影響のために代替となる医薬品の確保等の業務が増大しており、医療機関・薬局・医薬品卸の大きな負担となっている。
- 出荷調整等の情報は製薬企業からその都度公表するとともに、医療機関・薬局へ周知されているが、ほぼ毎日情報が更新されており、そのたびに対応が必要である。



<出荷調整等の情報を受けた対応の例>



4

DSJP では製薬企業が公開する医薬品供給に関するデータを毎日確認し、登録を行っております。当法人では、医療用医薬品の供給状況を包装単位ごとに検索可能な日本で唯一のデータベースとして今後も DSJP の運営を行なっていきたく思います。

一般社団法人 asTas



医療用医薬品供給状況
データベース (DSJP)



DSJP の運営を行なっています。

「伝える力」により、医療現場、企業、行政、大学等の相互理解を深め、薬剤師と医療を前に進める (+) ことを目標としています。

2021 年から継続する医薬品供給情報に対応すべく作成したデータベースです。製薬企業が公開している医療用医薬品の供給情報を一元的に検索することが可能です。2022 年 12 月のユーザー数は 5.5 万人、PV 数は 57 万回となっており、多くの方に利用されています。

<https://drugshortage.jp>